

ふれあいグループのところに書かれているところを詳しく記載しました



定期訪問活動（ふれあいチーム）

包括的にケアする必要が増えてきたことから行政、市社協、地域包括センター、ケアマネージャー、民生委員児童委員で情報を共有して活動をしています。

巡回安全サービス事業

市社協主催で「ふれあいチーム」加入者から3世帯を対象に、東京ガス、東京電力、関東電気保安協会、日立トンカチの会、日立消防本部多賀消防署の協力団体によっておこなわれています。

生活支援福祉事業

利用者会員は、ふれあいチームに登録している一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯者、体の不自由な方を対象となります。

自主防災訓練（安否確認）

安否確認は、災害時避難行動要支援者の安否確認と位置づけ、避難及び、救助者支援体制の推進を図る目的とする



事例

テレビショッピングで「1週間以内返品可能」と言っていたマッサージチェアを購入したうまく使えないため返品を申し出たが「通電した商品は返品できない」テレビ画面でも表示していると言わされた。番組を録画していたので確認したところ、最後に小さな文字で表示されていたが、気が付かなかった。使用しないと使い心地は分からぬ。返品したい。（70歳代 女性）

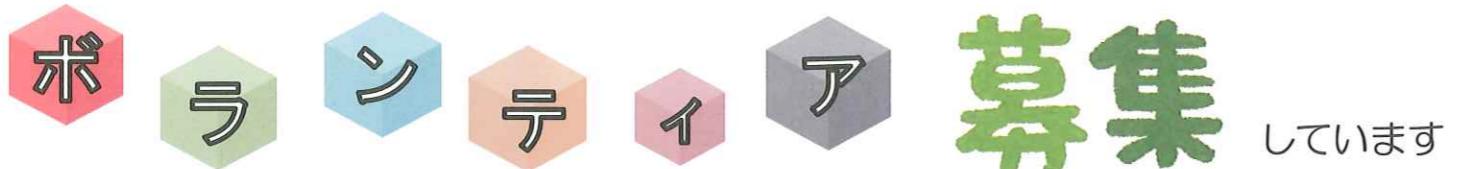
ひとこと助言

※番組内では重要事項の表示が小さかったり、表示時間が短かったりすることもあります。商品の印象や価格に気を取られず、冷静に判断することが大切です。



※テレビショッピング等の通信販売にはクーリングオフ制度はなく、返品については事業者の定めたルールに従うことになります。電話で注文する際には、オペレーターに返品条件等を改めてしっかり確認しましょう。

※困った時は、すぐにお住まいの自治体の消費生活センターにご相談ください
(消費者ホットライン 188)



主に生活支援事業のお手伝い（草刈、樹木の剪定、電球の交換など）

ご協力いただける方は、諏訪社協まで連絡ください。 よろしくお願いします (35) 0731

NO. 130

令和4年3月20日発行
諏訪地区社会福祉協議委員会
発行責任者 荒井 俊
(35) 0731
suwashakyo@net1.jway.ne.jp

すわふくし

令和3年度を振り返って

諏訪地区社会福祉協議委員会
委員長 荒井 俊

近年の社会環境の大きな変化は、かつては当たり前のようにあった住民相互の助け合い、支え合い、そしてみんなで地域をつくる「地域共生社会」のしくみを改めて見直すきっかけとなっています。

具体的には、近隣同士のつながりの希薄化、家族や地域の持っていた自助や互助といった福祉力の低下、さらには介護や子育てへの不安、困窮や社会的孤立など私たちの住む地域でも多くの問題を抱えています。そこで、今年度の諏訪地区社協のグループ活動は、

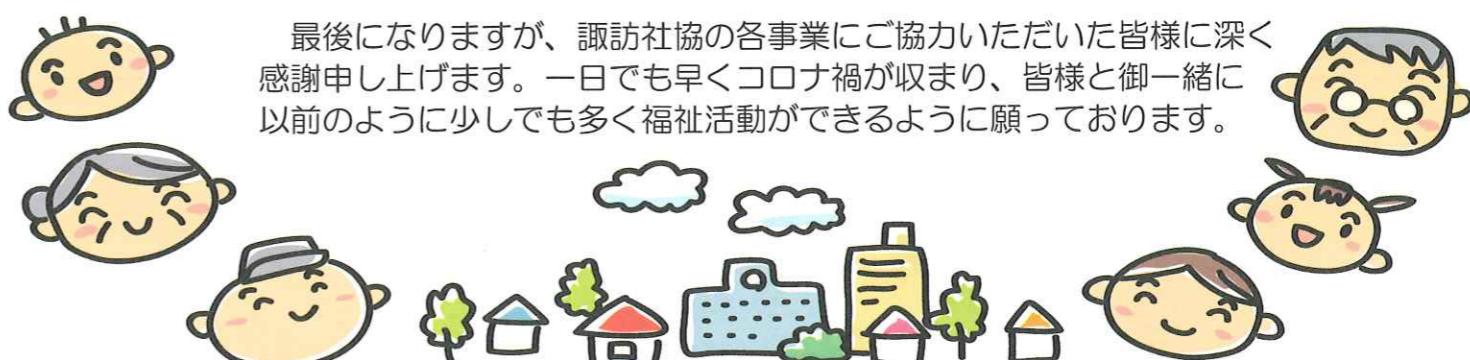
- ①ふれあいグループ：定期訪問活動（生活の様子を把握）、生活支援福祉事業（草刈、樹木の剪定、電球の交換など）、巡回安全サービス事業（電気、ガス、消防等による家屋点検）、自主防災（避難行動要支援者の安否確認）
- ②介護支援グループ：認知症予防教室
- ③高齢者支援グループ：さわやかクラブ、ふれあいサロン
- ④子育て支援グループ：おもちゃライブラリー、諏訪小福祉体験事業など、コロナ禍の中でも一定の成果をあげることができました。

これらの活動は、地域包括支援センター、地区社協委員、民生委員児童委員、ボランティア、近隣協力者など多くの皆様のご協力で運営されています。

福祉活動のメイン行事である今年度の敬老会はコロナ禍のため中止になり、代わって日立市による敬老高齢者元気応援事業が実施されました。これは、高齢者の方に生活応援品を贈り生活を支援する事業です。

また、年末の大口募金活動では多くの方にご賛同をいただき深く御礼申し上げます。この募金による净財は、福祉活動に生かされます。

さらに、誰もが願う「住み慣れた地域で暮らし続けたい」という思いに寄り添う「あんしん安全ネットワーク」活動は、支援を必要とする方への見守り活動による安否確認と生活支援を行う活動であり、地域福祉活動の基盤として、諏訪社協では重要な項目の一つに位置付けております。



介護支援グループ

事業報告

1. 介護支援グループ会議を4回開催
2. 認知症予防教室をサロン、自治会対象で7回開催（うち2回は地域包括支援センター小咲園による講話）受講者計 79名
3. 外部研修に1回参加 福祉施設ひまわりの「諏訪地区における福祉施設のこれから」という講演を受講 後日施設の訪問
4. 認知症予防の学習会を1回開催 講師 地域包括支援センター小咲園
5. ふれあいグループ会議に4回出席
6. 日立市高齢福祉課が主催する「ひたちオレンジカフェ」へ サポーターとして参加 認知症の方とその家族による工作、体操、そしてギター演奏を聴きながら楽しいひと時を過ごした
7. 日立市高齢福祉課主催（地域包括支援センター指導）認知症サポーター要請講座へ介護グループ全員（8名）受講



外部研修のようす

次年度も”ふれあい”を大切に活動していきたいと思います。
みなさん、ご協力をよろしくお願いします。

子育て支援グループ

子育て支援グループは、月2回のおもちゃライブラリーの開催と10月に諏訪小学校5年生による福祉体験学習の手伝いの活動を行いました。

おもちゃライブラリーは2月まででお子さんと保護者合わせ延べ100人が利用しました。

お子さんの一番の人気おもちゃは、ビジカートで広い場所をのびのび走り回っていました。2番人気は釣りで釣ると「さめ！」、「かに！」とにこにこしながら叫んでいました。



5年生による福祉体験では、視覚障害者体験、高齢者疑似体験、車椅子体験の3つのあとは、「これから困っている人を見かけたら手助けしたい」と感想を述べていました。



1年間、ボランティアの方のご協力をいただきながら、小さなお子様から、祖父母世代まで、さまざまな交流ができ、笑顔溢れる活動ができました。

ふれあいグループ

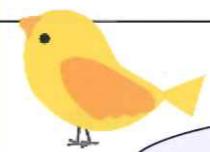
ふれあいグループとして、令和3年度も各種の事業活動を行いました

1. 定期訪問活動（ふれあいチーム） 現在127チーム結成されている「ふれあいチーム」登録者に市社協からの「燃えるゴミ袋」を今年も年4回配布しながら見守りの訪問活動を行いました。
2. 生活支援福祉事業 ふれあいチームに登録している方が利用できる事業で、今年は、電球の交換1件、樹木の剪定4件、居住敷地の草刈7件などの各種サービス12件をおこないました。
3. 自主防災訓練（安否確認） 避難行動要支援者、ふれあいチーム登録者154名の安否確認を実施し、100%の確認ができました。今年度は縮小して実施。電話を利用して適宜対応しました



ふれあいグループについての詳しい事は、4面に記載しています

令和3年度 事業報告



高齢者支援グループ

さわやかクラブは、毎月第2、4木曜日に活動をしています。しかし、今年も市から新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限を行ってくださいという連絡があり、4月～7月の間A、Bの班に分けて実施し、8月、9月は中止となりました。

2班では人数が半分のため、寂しく物足りない感じで行っていましたが、11月に解除になったら、「元気だった～？一緒にできるようになってよかったです、久しぶりに賑やかな声が大ホールに響き渡りました。年が明けてからは参加者も増え、ますます皆さん楽しくされていたようです。

今年、2ヶ月のお休みなどありましたが、計270名の方に利用していただきました。令和4年度も盛りだくさんのことを計画してますので楽しみにしてください。

サロンについては、やはりいろいろ制限がある中、それぞれ工夫してやっていただきました。

令和3年度もさわやかクラブ、各サロンのボランティアの方にはとてもお世話になりました。引き続き、令和4年度もよろしくお願いします。



クリスマス会



金沢音楽集団の方々による素晴らしい演奏にいつまでも聞いてみたいという感想でした